

デニナルト云フ風評ガ一般ニアツタ、ソレガオイデニナラナカツタノデ、是ハ日本ハ實力ヲ行使スル意思ガナイノダ、斯ウ云ウ風ニ蘭印側デハ見テ居リマシテ、日本ハ與シ易イト云フコトニナツタ、蘭印側ガ一番恐レテ居リマシタノハ、日本ハ此ノ會商ガ旨ク行カナケレバ、最後ニハ實力ノ行使ヲシナイダラウカ、此ノ點ヲ心配シテ居リマシテ、既ニ到ル處ニ於テ「トーチカ」トカ、輕濠ヲ築キ、或ハ海岸ニハ砲臺ヲ設ケ、水雷ヲ敷設シ、色々ナコトヲ致シマシテ防備ヲシテ居ル、其ノ時ニ於テ小磯大將ガオイデニナラナクテ、小林商工大臣ガオイデニナツタト云フコトデ非常ニ安心ヲシテ見縊ツテ日蘭會商ニ蘭印側ハ奥ノ手ヲ出シテ、何時マデモ之ヲ引張ツテ行ク策ヲ講ズル、サウ云フコトニナツテ居タ際ニ、日獨伊ノ三國同盟ガ出來タ、ソコデ蘭印側ノ新聞ハ、日本ハ蘭印ノ敵デアル、「ドイツ」ハ「オランダ」ノ敵デアル、其ノ「ドイツ」ト日本ガ同盟ヲ締結シタノデアルカラ、日本モ敵デアル、敵國カラ共存共榮呼バハリヲセラ

表セラレテ、國民ヲシテ安心セシムルヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス  
ソレカラ松岡外相ノ此ノ前ノ議會ニ於ケル聲明ニ對シテ、蘭印側ノ「ファン・モーク」經濟長官ガ又反對ノ聲明ヲシテ居ル、其ノ聲明ハ「蘭印ノ地域ヲ外國ノ權威ノ下ニ置クガ如キ新秩序ヲ斷乎トシテ退ケル、且ツ蘭印ヲ「アジア・ブロック」ニ包含スルコトヲ目指ス如何ナル國際經濟關係ノ發展ヲモ歓迎若シク促進スル譯ニハ行カナイ、戰爭ニモ拘ラズ我が輸出ノ九割ハ東亞諸國以外カラ仰イデ居ル、之ヲ見テモ單ナル地理的位置ガ決定ノ經濟的要素デハナイコトハ明カデアル」、斯ウ云フヤウナ實ニ不都合ナル聲明ヲシテ居ルノデアリマス、此ノ聲明ニ對シマシテ、外務大臣ハ何トカ反對的ノ聲明ヲナサル考ヘハナイノデアリマセウカ、過日此ノ席ニ於キマシテモ、「アメリカ」ニ對シマシテ非常ニ強硬ナル御決心ヲ御演説ナサイマシテ、日本ノ國民ハ非常ニ心強く感じテ居ルノデアリマス、蘭印ニ對シマシテモ、斯ウ云フヤウナ勝手ナ聲明ヲセラレテ、日本ガ之ヲ沈黙シテ居ルト云フコトニナリマスルト、益、日本ニ對シテ輕侮ノ念ヲ深クスル、ト同時ニ、土人ノ側ニ於キマシテモ、今マデ、日本人ヲ非常ニ尊敬シ、日本ニ對シマシテハ敬意ヲ拂ツテ居ルノニ拘ラズ、斯ウ云フ軟弱ナ態度ニ對シマシテハ、土人マデ日本ノ態度ニ對シテ嫌ヲヌヤウナ感じテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ付キマシテ、若シ御差支ヘナケレバ、此ノ席上ニ於キマシテ、松岡外相ノ固キ決心ノ程ヲ伺ヒタイノデアリマス

日本人ニ對シマシテ、昨年來暴行事件ヲ屢々惹起シテ居ルノデアリマス、「バタヴィア」ノ「バ」ニ於ケル日本ノ漁船ヲ砲撃シ、或ハ「バ」ニ於ケル日本人ノ排斥ヲナシ、日本人ヲ毆打スル、又「バタヴィア」ニ於ケル不法監禁、見逃スコトノ出來ナイノハ、日本ノ國旗ヲ燒捨テテ居ル、斯ウ云フ不都合ナ行爲ガ澤山アルノニ拘ラズ、此ノ解決ガ未ダ出來テ居ナイヤウニ思ヒマス、此ノ解決ヲ一日モ早くシナケレバ、日本ニ對シテ益々侮辱ノ念ヲ深クスルノデアリマス、此ノ暴行事件ハドウナツテ居リマスルカ、此ノ點ヲ承リタイノデアリマス、マダ他ニモ伺ヒタイ點ガアリマスルガ、時間ノ關係上是ダケニ付キマシテ、外交上差支ヘナイ範圍ニ於テ、外相ノ御意見ヲ拜承シタイノデアリマス

○松岡國務大臣 御答ヘ致シマス、第一點ニ付キマシテハ英米等ノ策動ガアツテ、多少行惱ンデ居リハセヌカト云フ御懸念デノ御質問ト考ヘテ居リマスガ、サウ云フコトハ今マデハ認メテ居リマセヌ、先日述べマシタヤウニ、私トシテハ國ノ名ヲ指サスコトハドウカト思ヒマスガ、日本ノ調停申入ヲ受諾セシムルニ至ルマデノ間、某々國等ガ相當猛烈ナ裏面工作ヲヤツテ居リマシタコトハ事實デアリマスガ、一旦我が調停申込ヲ佛「タイ」兩國ガ受諾致シマシテカラハ、サウ云フ形跡ヲ特ニ今日マデ認メテ居リマセヌ、唯併シハマダ秘密ニ懇談ヲ遂ゲテ居ルノデアリマスカラ、遺憾ナガラ今日ソレヲ御話スルコトハ出來マセヌガ、停戰ヲドウ云フ地點スルカ、ソレカラ停戰協定ノ爲ニ交渉ヲ行フ場所ニ付テ、尙ホ異議モアルヤウデアリマス、寧ロサウ云フ細カイ點デ、折角今懇談ヲ遂ゲテ、早く纏マリヲ付ケヤウトシテ居ルノデアリマス、御諒承願ヒマス

第二ガ蘭印カラ輸入スル石油ノ問題ニ付テノ御質問デアリマス、是ハ全然御同感デアリマス、私モ一日モ速カニ國民ニ數量等モ發表致シマシテ、安心ヲ與ヘタイト冀ツテ居ルノデアリマス、私一々ノコトハ存ジマセヌガ、諸外國ノ方面ヘハ無論漏レテ居ルト思ヒマスケレドモ、蘭印當局者ト我が當局者ノ間デハ、過般漠然トシタ公表ヲ致シテ居リマス、アレ以上公表スルコトハ、マダ相談ガ纏マツテ居ラスノデアリマス、唯是ダケ申上ゲテ置キマス、小林代表ノ引揚ゲルマデニ、一番大事ナ石油ノ問題ニ付テハ、過般本會議デ私ガ簡單ニ述ベマシタヤウニ、寧ロ私共トシテ交渉ガ非常ニ困難デアラウト想像シテ、其ノ困難ナ中ニモ是ダケハセメテ得タイト思ツテ居リマシタ量ヨリモ、ズツト澤山ノ量ヲ蘭印當局者ト決定致シタノデアリマス、尙ホ其ノ以外ニ普通ノ商取引トシテモ、相當ノ量ガ得ラレルノデハナイカト思ヒマス、併シ此ノ席上デ數字等ヲ舉ゲルコトダケハ差控ヘタイト思ヒマス、御諒承願ヒマス、第三ノ私ノ議會ニ於ケル言明ニ對シテ、「オランダ」ノ經濟長官ガ聲明ヲ發シテ居ルコトニ付キマシテハ、過般既ニ此處デ私ノ見ル所ハ明カニシテ置イタノデアリマス、ソレデ御承知ヲ願ヒタイノデアリマスガ、又御問ヒニナリマシタノデ、出來ルダケ簡單ニ御答致シマスドウモ歐米人ニハ吾々ノ八紘一宇ト云フヤウナ考ヘガ分リニクイノデアリマス、ドウモコナラノ日本語デ言ツタ言葉ヲ正解スルコトガ困難ナヤウデアリマス、言ウテ彼

等ノ納得スルヤウニドウ譯シタラ宜イカ、  
 是ハ非常ニ困難デアリマス、私ハ自分ガ淺  
 學ノ爲メデアリマセウガ、八紘一字ト云フ  
 ノヲ、ドウ云フ風ニ譯スカ、未ダニ適當ナ  
 譯語ガ見付カリマセヌ、西洋人ハ半分冗談  
 カ分リマセヌガ、「エイト・コーナード・ハ  
 ウス」トカ、「エイト・コーナード・ドーム」ト  
 カ言ツテ居リマス、是ハ冗談半分ノ譯文ミ  
 タイナモノデ、ソレヲ見タノデハサツパリ  
 分ラヌ、元來ソレハ分ラヌト云フコトデハ  
 ナイ、吾々ノ根本ノ思想、我が國ノ此ノ大理  
 念ト云フモノハ、歐米ノ現代文明ニ育ツタ  
 歐米人ニハ中々分ラヌ、ソコデ是ハ私共ガ  
 根氣宜ク海外ニ説イテ聽カスヨリ外仕方ガ  
 ナイト思フガ、兎モ角分ラヌ結果ガ色々ナ  
 反駁ヲシテ見タリスル、ソレカラ只今御注  
 意ノ、アア云フコトヲ言ウタ場合ハ反駁ヲ  
 スベキデヤナイカト云フコトモ、是モ尤モ  
 ナノデアリマシテ、私モ初ハ時々腹ガ立ツ  
 テ、サウシヨウカト思ヒマシタケレドモ、  
 是ハ反駁スルカシナイカ、又ドウ云フ場合  
 ニドウ反駁スルカト云フヤウナコトハ、一  
 ツハ外交作戦ヲヤル上ニ於テ、手加減ヲシ  
 ナケレバナリマセヌノデ、其ノ邊モ一ツ御  
 諒察ヲ願ヒタイ、唯此ノ機會ニ私ハツキリ  
 言明致シテ置キマスガ、帝國政府ハ斷ジテ  
 軟弱ナ態度ヲ執ツテ居ルノデハゴザイマセ  
 ス、根本ニ於テ固イ決心ヲ持ツテ居ルノデ  
 アリマス

尙ホ私ハ非常ナ好イ機會デアリマスカラ、  
 大東亞共榮圈樹立ニ付テ、我が國ガ指導者  
 タラント期シテ居ルト云フコトニ付キマシ  
 テ、何方覇道のノ意味デ大東亞ヲ支配スル  
 ノデハナイカトカ、又ハ甚ダシキハ侵略、  
 征服ヲ夢見テ居ルノデハナイカト云フヤウ

ナ疑惑ヲ懷ク向キモ、絶無デハナイヤウニ  
 見受ケラレマスカラ——今申シマシタヤウ  
 ニ中々彼等ガ我が大理想ヲ擱ムコトハ難カ  
 シイノデアリマスガ、サウシテ一體コンナ  
 歪曲サレタ見方ハナイ筈デアリマスガ、ド  
 ウモ今申シマシタヤウナ譯デ、又近代文明  
 ノ一ツノ大疾患デアアル何デモ力ヲ以テ強行  
 スルトカ、又ハ征服スルトカト云フヤウナ  
 考ヘ方ノ人カラ見ルト、我が民族ノ物ノ考  
 ヘ方、吾々ノ眞ノ念願ナド理解出來ナイノデ  
 ハアリマセウガ、兎モ角平川君モ御尋ネナサ  
 レ、又私モ先程カラ反覆シテ居ルヤウニ、兎  
 角誤解ガアル、能ク理解セヌ、斯ウ云フ傾キ  
 ガアリマスノデ、私ハ此ノ機會ニ於テ吾々ノ考  
 ヘテ居ルコト、企圖シテ居ルコトノ意義ヲ明カ  
 ニシテ置キタイ、ソレハ必ズシモ無益デア  
 ルマイト存ジマス、指導權ト申シマス、  
 人ニ依ツテハ耳障リニ聞エル、角ガ立ツテ  
 聞エルカモ知レマセヌシ、又誤解ヲ生ズル  
 カモ知レマセヌガ、吾々ガ八紘一字ト云フ  
 我が民族ノ傳統の大理想ヲ以テ、大東亞ヲ  
 指導セント期スルト云フコトニ、別ニ不都  
 合ナ點ハナイ筈デアルト、私ハ考ヘテ居ル  
 ノデゴザイマス、此ノ大東亞圈内ニアル諸  
 國ノ諸民族ヲシテ、各、其ノ所ヲ得シムル  
 ヤウニ努力スル、指導スルト云フコトハ此  
 ノ圈内ニ於ケル諸國、諸民族、否世界ノ何  
 人デモガ、若シ虚心ニ之ヲ見ルナラバ、洵  
 ニ結構ナルコトトシテ、共鳴歡迎スベキデ  
 アルト思フノデアリマス、我が大和民族ハ  
 肇國以來ノ傳統の大理想ヲ、實ハ獨リ大東  
 亞ヲケケデハナク、行ク／＼ハ全世界ニ互リ  
 テ實現センコトヲ期シテ居ルモノデアリマ  
 ス、唯此ノ際ハ世界ノ現狀ト、我が國現在  
 ノ國力其ノ他ノ事情ニ顧ミテ、我が國ハ

大東亞ニ之ヲ限リ、歐洲ハ獨伊ニ於テ同  
 様ノ理想實現ニ當ルト云フコトニシタノデ  
 アリマス、ソレハ日獨伊三國條約デ明カニ  
 サレテ居リマス、北米合衆國ノ如キモ、若  
 シ同様ノ理想實現ニ志スナラバ、南北米ノ  
 天地デ、之ニ任ズレバ宜シカラウト思ハレ  
 マス、何處ノ強國デアラウトモ、若シ我が  
 民族ト同様ノ大理想ヲ抱キ、或ル地域ヲ指  
 導シ、進ンデハ世界ヲ誘導セントスルナラ  
 バ、其ノ考ヘ方ハ結構ナコトデアリマシテ、  
 何モ我が國ガ之ヲ專賣ニシテ居ル譯デモナ  
 イ、之ニ反對スベキ謂ハレモナイ、唯問題  
 ハ其ノ場合、果シテ其ノ事ニ付テ之ヲ實現  
 スルダケノ能力ト資格トガアルカト云フコ  
 トデアアルノデアリマス、結局何レノ國民又  
 民族ガ、眞ニ斯カル大理想ヲ實現スルノ資  
 格ト力トヲ持チ、斯カル大任ニ堪ヘルカト  
 云フコトニ問題ハ歸スルノデアリマス、差  
 當リ我が民族ハ、大東亞共榮圈内ニ於テ、  
 八紘一字ノ大理想ヲ以テ、前述ノ通りノ意  
 義ニテ指導シヨウト云フノデアリマシテ、  
 先ヅ以テ此ノ圈内ニアル諸民族、諸國民ガ  
 能ク我が民族ノ眞意ヲ了解シテ、此ノ聖業  
 ニ協力センコトヲ希望スルノデアリマス、  
 サウシテ指導トハ讀ンデ字ノ如キモノデア  
 リマシテ、歐米列強ト雖モ我が眞意ヲ了解  
 シ、之ニ共鳴シ來ツテ協力セントスルモノ  
 ヲ拒ムモノデハ、固ヨリゴザイマセヌ

ソレカラ最後ニ、第四ノ御質問ニ付テ御  
 答ヘ致シマスガ、平川君ノ御指摘ニナリマ  
 シタヤウナ不正、暴行等ノ事件ガ我が在留  
 民、又ハ日本カラ參ツタ人ニ對シテ往々ニ  
 シテ行ハレテ居ルコトハ、洵ニ遺憾デゴザ  
 イマシテ、是等ニ付テハ極力之ヲ正スコト  
 ニ努メテ居リマス、但シ決シテ軟弱デハゴ

ザイマセヌガ、喧嘩腰デヤツテ居ルノデハ  
 ゴザイマセヌ、一方多年ノ宿題デアアル所ノ  
 經濟交渉ヲシテ居リマスノデ、之ニモ鑑ミテ  
 出來ルダケノ抗議モシ、又其ノ是正ヲ求メ  
 テ居ルノデゴザイマス、ニモ拘ラズ寧ロ最  
 近ハ、此ノ間申上ゲマシタヤウニ、ドウモ  
 新聞論調其ノ他ガ、甚ダ日本ニ對シテ宜シ  
 クナイノデアリマス、是ハ洵ニ吾々モ遺憾  
 ニ思ツテ居リマスガ、其ノ啓發ニ付テモ亦  
 極力努力ヲシテ居リマス

○平川委員 私人質問ハ是デ打切りマス  
 ○増田委員長 石坂豊一君  
 ○石坂(豊)委員 私人首相、内相、農相及  
 ビ厚相ニ對シテ質問ヲ致シタイノデアリマ  
 スルガ、只今首相ハマダ御見エニナツテ居リ  
 マセヌ、ソレデ其ノ質問ハ留保サセテ戴キ  
 マシテ、内相ニ二三御伺ヒ致シタイノデア  
 リマス、實ハ内相ニ伺フコトハ首相ト關聯  
 スルコトガ多イノデアリマスガ、關聯スル  
 部分ヲ省キマシテ内相ノ御意見ヲ伺ツテ見  
 タイノデアリマス、先ヅ私共國民ハ、支那  
 事變ノ最大主眼トスル所ハ防共デアルトシ  
 テ居ルノデアリマス、隨テ赤キ思想ノ退治  
 ニ對シテハ全國民一致シテ之ニ當ツテ居ル  
 コトハ申スマデモナイノデアリマス、所デ  
 之ニ類似スルガ如キコトガ地方ニチラ／＼  
 現ハレルノデ、之ニ對シテ地方民ハ一種ノ  
 不安ヲ感ジテ居ル事實ガアルノデアリマス、  
 極メテ飛ビ越エテ其ノ事實ヲ申上ゲマスガ、  
 大日本赤誠會ナルモノハ、是ハ元大政翼贊  
 會ノ發生前ハ大日本青年黨ト稱セラレテ居  
 タノデアリマス、其ノ會ニ於テ一種ノ會旗  
 ヲ用ヒテ居リマス、會ノ旗デアリマスカラ  
 ドシナモノヲ作ツテモ宜イトハ言ヘルカモ  
 知レマセヌガ、如何ニモ其ノ旗ハ日本ノ尊